

平成27年3月期 第2四半期 決算説明会
(平成26年4月1日～9月30日)

— 内 容 —

I. 平成27年3月期 第2四半期 業績説明

1. グループの状況
2. トピックス
3. 決算概要
4. 販売チャネル別売上変動
5. セグメント別売上変動
6. 営業利益の増減要因
7. 財務状況
8. 配当の状況

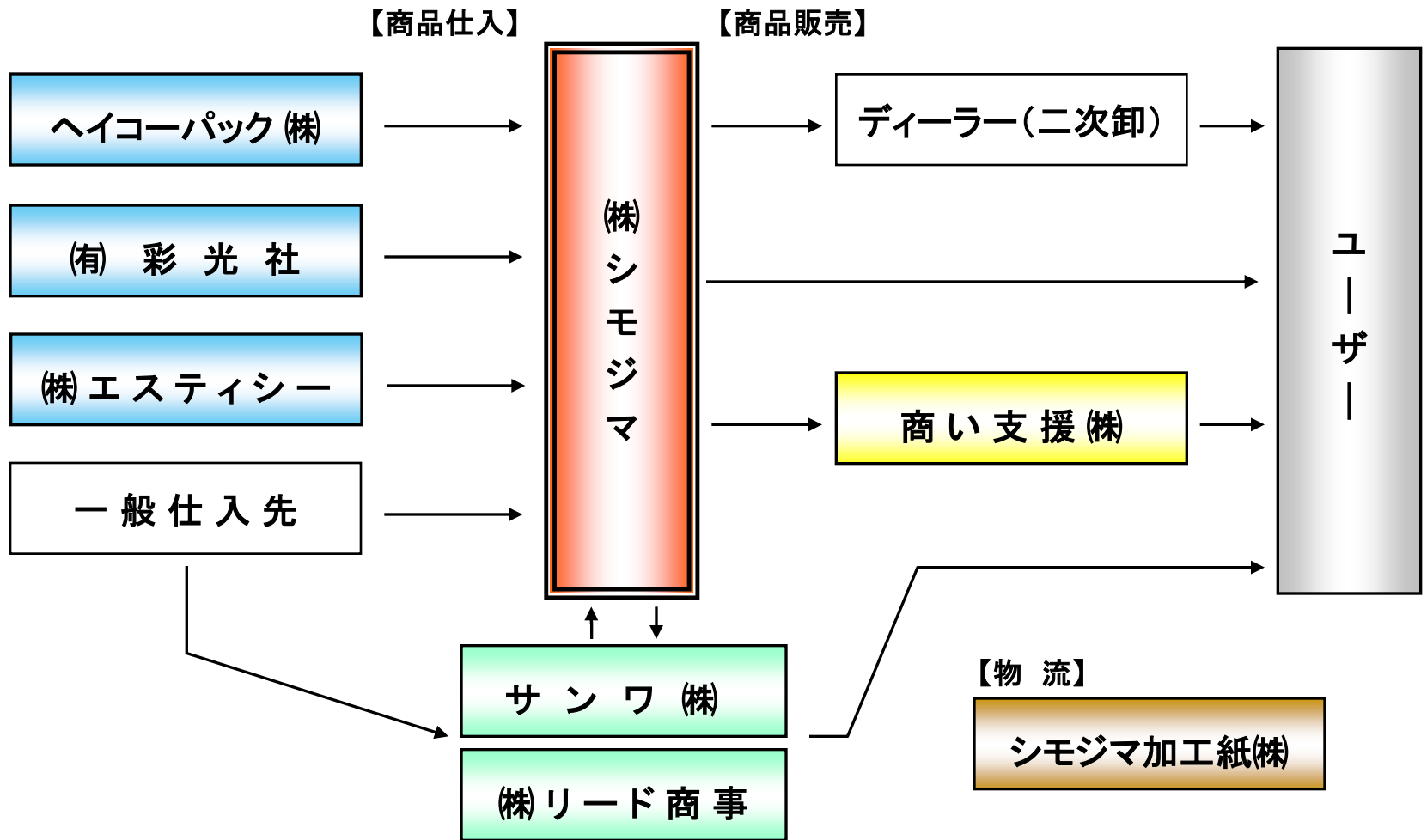
II. 通期の見通し

1. 平成27年3月期 業績予想
2. 平成27年3月期 業績予想の修正
3. 平成27年3月期 設備投資計画
4. 平成27年3月期 下期 重点施策
5. 次期に向けて

III. 質疑応答

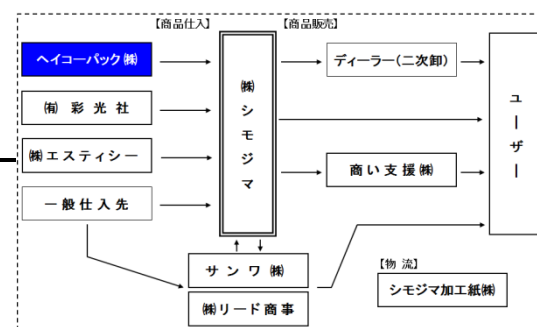
I . 平成27年3月期 第2四半期 業績説明

1. シモジマグループの状況(連結対象)



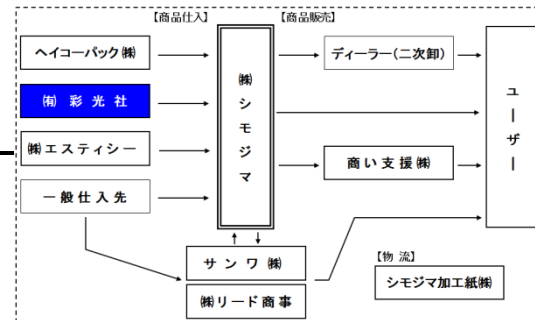
ヘイコーパック(株)

紙製品(紙袋・包装紙等)製造



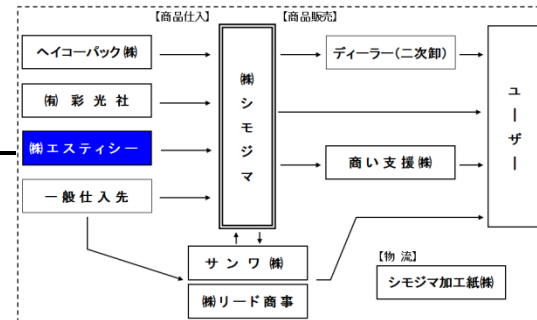
(有) 彩光社

ラベル・シールの印刷・製造



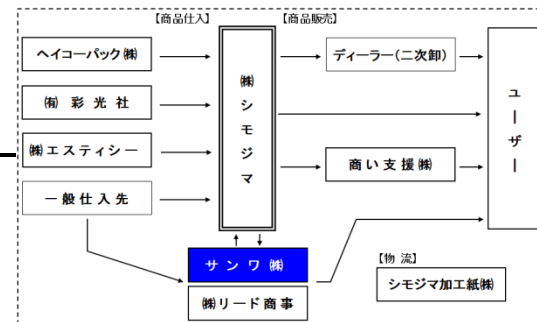
(株)エスティシー

海外製品の仕入



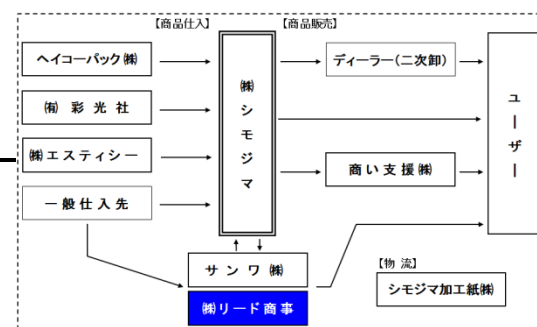
サンワ (株)

業務用ハンガーや副資材の製造・販売



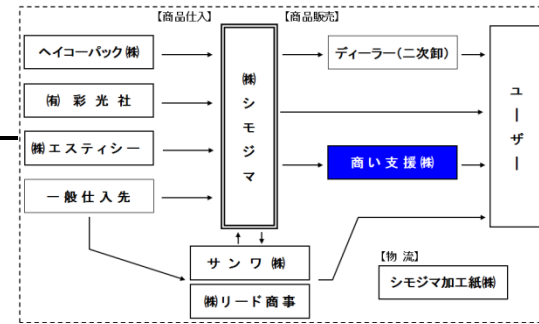
(株)リード商事

花材・園芸関連用品の卸売



商い支援(株)

インターネット販売システム支援



商い支援は、株式会社シモジマが運営する包装用品・店舗用品の総合通販サイトです

商い支援

ログイン | マイページ | ようこそ ゲスト様 会員登録はこちら

現在の合計額 0円(税込)

ご利用案内 | お問い合わせ | 電話でのお問い合わせ ☎ 0120-997-157
【受付時間】月曜～金曜(祝日を除く) 9:00～17:30

カートを見る | カンタン! JANコード注文

ダイレクト検索 商品を探す | キーワードまたは商品コードを入力 | 検索する | 詳細条件で検索する

初めての方はこちら

今すぐ使える会員限定7つの特典付き
商い支援会員 登録募集中!

▶ 新規会員登録する
▶ 会員限定7つの特典とは?

会員の方はこちら

▶ ログインする
▶ マイページへ

カテゴリから探す

- ▶ 紙袋
- ▶ 包装紙
- ▶ 箱
- ▶ ポリ袋
- ▶ 食品包装資材・消耗品
- ▶ ラッピングアクセサリ
- ▶ 梱包用品

季節のおすすめ

「ありがとう」を込めて贈るギフトラッピング
父の日の包装用品
For Father's Day

アーリーサマーハイビスカス
「アロアロ」シリーズ
大人のリゾート感を演出するパッケージ!
環境対応商品

父の日の包装用品 | ハイビスカス「アロアロ」シリーズ

おすすめ特集

For Kids NEW!
お子さまがよろこぶ包装用品
おすすめ特集

スウェーデン産! デイグマンの描くやさしい世界
© Kristina Digman

HEIKO **オリジナル伝票**
お買い得!
日々使うものだから... 少しでもお安く!

HEIKO OPPクリスタルパック
抜群の透明度と品揃えが魅力!

HEIKO OPPクリスタルパック | HEIKOオリジナル伝票

規格表

紙袋の総合規格表 | 包装紙の材質と特徴

形状と立て方

箱の形状と組み立て方 | ボックスサイズ表

PPクリスタルパックの表

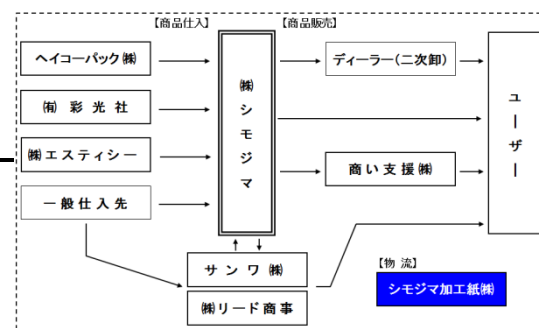
PPクリスタルパックの規格表 | のし紙の豆知識

▶ 箱	▶ ポリ袋
▶ 梱包用品	▶ 粘着テープ
▶ 文具・事務用品	

▶ 弁当・惣菜店舗	▶ 飲食店舗	▶ 酒販店舗
▶ 洋品店舗	▶ 雑貨店舗	▶ プライダールショップ様
		▶ フラワーショップ様
		▶ 農業生産者様

シモジマ加工紙(株)

物流業務



2. 平成27年3月期 上期 トピックス

H26. 5 高松営業所 開設

H26. 6 執行役員制度 導入

H26. 8 札幌営業所 移転

H26. 9 大阪南港物流センター 稼働

H26. 9 本社建て替え工事 着手

3. 平成27年3月期 上期 決算概要

(百万円)

科 目	単 位	H26年3月期 上期		H27年3月期 上期	
		金 額	前 期 比	金 額	前 期 比
売 上 高	百 万 円	23,045	1.3%	22,378	▲2.9%
売 上 総 利 益	百 万 円	7,074	▲5.4%	6,716	▲5.1%
売 上 総 利 益 率	%	30.7	-2.2pt	30.0	-0.7pt
販 管 費	百 万 円	6,723	0.3%	6,597	▲1.9%
営 業 利 益	百 万 円	351	▲54.7%	119	▲66.0%
経 常 利 益	百 万 円	364	▲55.9%	324	▲11.0%
四 半 期 純 利 益	百 万 円	284	▲36.6%	205	▲27.5%
一株当たり四半期純利益	円	12.10	—	8.77	—

4. 販売チャネル別売上変動

(百万円)

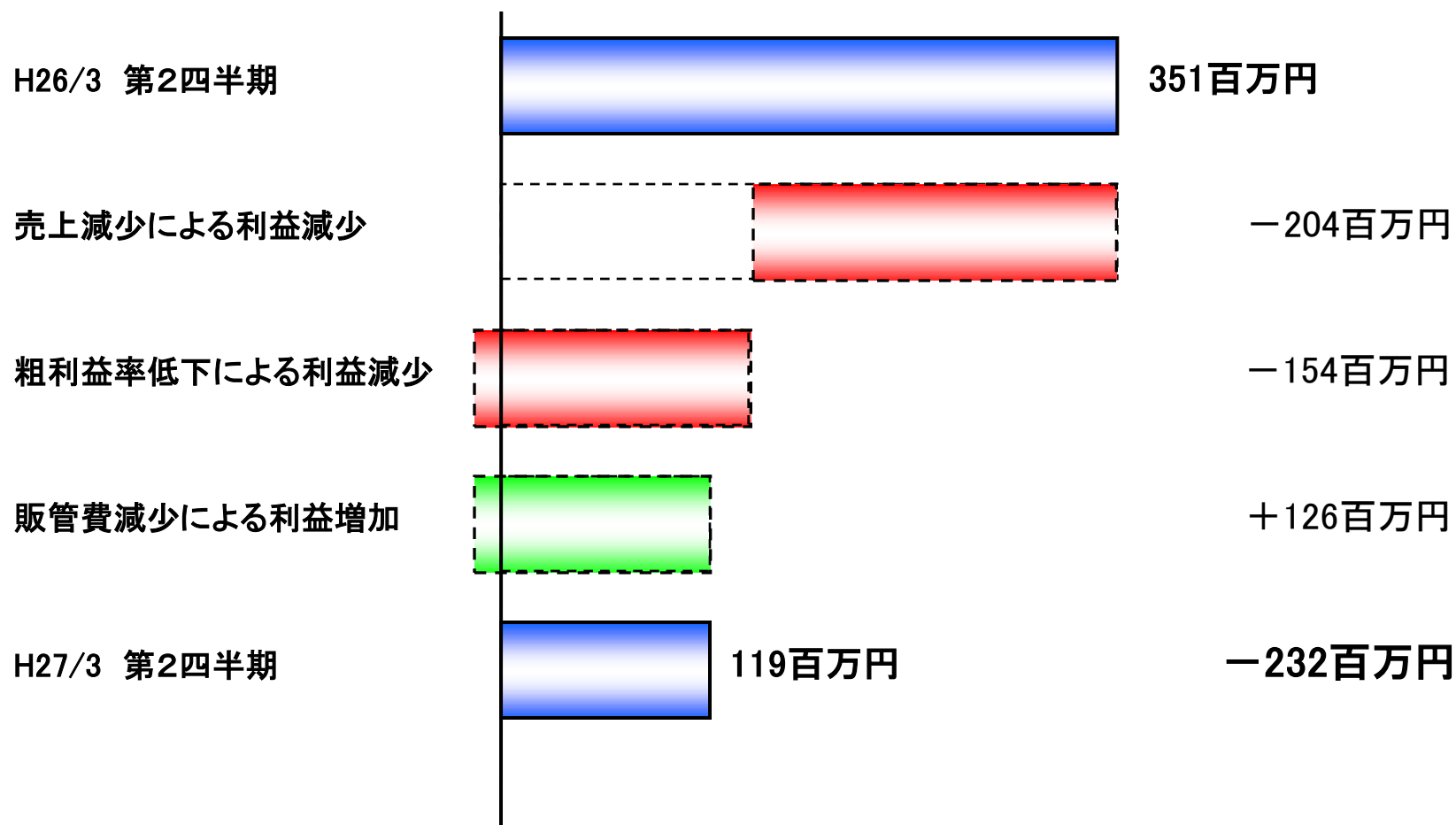
	H26年3月期 上期			H27年3月期 上期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
店舗販売	6,704	29.1%	▲3.8%	6,090	27.2%	▲9.2%
営業販売	16,341	70.9%	3.6%	16,288	72.8%	▲0.3%
ディーラー (二次卸・包装用品販売店)	8,748	38.0%	4.5%	9,203	41.1%	5.2%
シモジマグループ加盟店 (パッケージプラザ)	2,858	12.4%	▲2.6%	2,768	12.4%	▲3.1%
ユーズ (百貨店・専門店等)	2,815	12.2%	5.1%	2,440	10.9%	▲13.3%
サンワ (アパレル業界)	1,063	4.6%	8.8%	1,050	4.7%	▲1.2%
リード商事 (生花・園芸業界)	837	3.6%	6.0%	802	3.6%	▲4.2%
その他	20	0.1%	▲8.7%	25	0.1%	25%
合計	23,045	100.0%	1.3%	22,378	100.0%	▲2.9%

5. セグメント別売上変動

(百万円)

	H26年3月期 上期			H27年3月期 上期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
紙製品事業	4,366	18.9%	0.6%	4,148	18.5%	▲5.0%
化成品・包装資材事業	12,046	52.3%	2.5%	11,986	53.6%	▲0.5%
店舗用品事業	6,632	28.8%	▲0.2%	6,243	27.9%	▲5.9%
その他事業	0	0.0%	—	0	0.0%	—
合計	23,045	100.0%	1.3%	22,378	100.0%	▲2.9%

6. 営業利益の増減要因



7. 財務状況

■ 四半期連結貸借対照表 1 (抜粋)

<資産の部>

(百万円)

勘定科目	26年3月期末	26年9月期末	増減額
現金及び預金	7,836	6,330	▲1,506
受取手形及び売掛金	5,988	5,368	▲620
たな卸資産	5,586	6,984	1,397
建物・造作設備・機械設備	5,376	5,244	▲131
土地	7,280	7,246	▲34
ソフトウェア	912	752	▲159
リース資産(有形・無形)	1,309	1,269	▲40
保険積立金	1,486	1,439	▲47
資産合計	38,068	37,084	▲984

在庫の増加及び
納税・配当金の支払い

前期末(3月)仮需
による売上の増加

商品在庫の増加

■四半期連結貸借対照表 2 (抜粋)

<負債の部>

(百万円)

勘定科目	26年3月期末	26年9月期末	増減額
支払手形及び買掛金	2,619	2,335	▲283
未払法人税等	781	171	▲610
未払金(短期・長期)	725	664	▲61
リース債務(短期・長期)	740	722	▲17
退職給付に係る負債	841	858	16
土地再評価繰延税金負債	329	322	▲6
負債合計	7,051	6,007	▲1,044

前期末(3月)仮需
による仕入の増加

納税による減少

<純資産の部>

(百万円)

勘定科目	26年3月期末	26年9月期末	増減額
資本金	1,405	1,405	—
利益剰余金	35,278	35,243	▲34
有価証券評価差額金	87	112	24
繰延ヘッジ損益	22	106	84
土地再評価差額金	▲6,228	▲6,240	▲12
純資産合計	31,017	31,077	60
負債純資産合計	38,068	37,084	▲984

連結累計期間利益 205百万円
配当金の支払い 259百万円

自己資本比率 83.7%

■ 四半期連結損益計算書

(第2四半期累計期間)

(百万円)

勘定科目	26年3月期上期	27年3月期上期	増減額
売上高	23,045	22,378	▲666
売上原価	15,971	15,662	▲308
売上総利益	7,074	6,716	▲357
物流費	1,736	1,656	▲80
人件費	3,163	3,142	▲21
その他	1,822	1,798	▲23
販管費合計	6,723	6,597	▲126
営業利益	351	119	▲231
営業外収益	97	228	131
営業外費用	83	23	▲60
経常利益	364	324	▲40
特別損益	109	40	▲68
法人税・住民税関係	189	159	▲30
四半期純利益	284	205	▲78

仕入の減少及び在庫の増加

売上の減少及び
売上総利益率の低下

オプション評価益等 78百万円
子会社ヘイコーパック建物雪害による
保険金収入 41百万円

前期に投資有価証券の売却益

■ 四半期連結キャッシュフロー計算書(抜粋)

(百万円)

区 分	26年3月期上期	27年3月期上期	増 減 額
税金等調整前四半期純利益	473	364	▲109
減価償却費	483	465	▲18
売上債権の増減額	387	620	232
たな卸資産の増減額	▲1,095	▲1,397	▲302
仕入債務の増減額	▲214	▲283	▲69
法人税等の支払額	▲748	▲782	▲33
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲1,061	▲1,034	26
固定資産の取得による支出	▲246	▲236	10
固定資産の売却による収入	450	54	▲395
投資活動によるキャッシュ・フロー	183	▲148	▲332
リース債務の返済による支出	▲520	▲54	466
配当金の支払額	▲259	▲258	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲779	▲312	467
現金及び現金同等物の期首残高	7,820	7,690	▲129
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,158	6,199	41

本社建替工事費
及び生産設備等

札幌営業所移転に伴う売却

8. 配当の状況

	1株あたり年間配当金			配当性向
	第2四半期	期末	年間	
	円 銭	円 銭	円 銭	
26年3月期	11 00	11 00	22 00	40.6%
27年3月期（実績）	11 00	—	22 00	44.9%
27年3月期（予想）	—	11 00		

Ⅱ. 通期の見通し

1. 平成27年3月期 業績予想

科 目	単 位	H26年3月期 上期		H27年3月期 上期	
		金 額	前 期 比	金 額	前 期 比
売 上 高	百 万 円	23,045	1.3%	22,378	▲2.9%
売 上 総 利 益	百 万 円	7,074	▲5.4%	6,716	▲5.1%
売 上 総 利 益 率	%	30.7	-2.2pt	30.0	-0.7pt
販 管 費	百 万 円	6,723	0.3%	6,597	▲1.9%
営 業 利 益	百 万 円	351	▲54.7%	119	▲66.0%
経 常 利 益	百 万 円	364	▲55.9%	324	▲11.0%
当 期 純 利 益	百 万 円	284	▲36.6%	205	▲27.5%

科 目	単 位	H26年3月期 通期		H27年3月期 通期(予想)	
		金 額	前 期 比	金 額	前 期 比
売 上 高	百 万 円	49,361	3.4%	48,270	▲2.2%
売 上 総 利 益	百 万 円	15,292	▲3.4%	14,820	▲3.1%
売 上 総 利 益 率	%	31.0	-2.2pt	30.7	-0.3pt
販 管 費	百 万 円	13,300	▲0.7%	13,270	▲0.2%
営 業 利 益	百 万 円	1,991	▲18.3%	1,550	▲22.2%
経 常 利 益	百 万 円	2,118	▲17.1%	1,860	▲12.2%
当 期 純 利 益	百 万 円	1,271	▲19.3%	1,150	▲9.5%

2. 平成27年3月期 業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,600	1,780	2,010	1,213	51.68
今回修正予想(B)	48,270	1,550	1,860	1,150	49.00
増減額(B-A)	▲1,330	▲230	▲150	▲63	—
増減率(%)	▲2.7	▲12.9	▲7.5	▲5.2	—
前期実績	49,361	1,991	2,118	1,271	54.16

3. 平成27年3月期 設備投資計画

■平成27年3月期 設備投資計画

総額＝約15.2億円(リース含む)

＜主な投資案件＞	予 算	上期実績	下期見込
・ 店 舗 投 資	： 約 0.4億	0.1億	0.3億
・ 生産設備 ・ 物流投資	： 約 6.1億	1.2億	4.9億
・ I T 投 資	： 約 4.9億	0.2億	4.7億
・ そ の 他 投 資	： 約 4.1億	0.8億	3.3億
合 計	約 15.5億	2.3億	13.2億

＜減価償却費＞ * 製造原価を含む

	予 算	上期実績	下期見込
合 計	約 10.3億	4.6億	5.7億

4. 平成27年3月期 下期 重点施策

1. 主力商品の販売強化
2. 重点業界営業の拡大
3. 店舗の活性化
4. 通信販売の強化
5. 粗利益率の確保

5. 次期に向けて

■ 中期方針

1. 事業拡大

シェアの拡大、チャネルの拡大、市場の拡大

2. 経営基盤強化

■ 今後の注力事業

1. オムニチャネル化

2. 訪日外国人ビジネス

3. ロジスティクス改革

Ⅲ. 質 疑 応 答